

別添資料

研究成果集

- 【1-1】 御中授業スタンダード 生徒用
- 【1-2】 御中授業スタンダード 教師用
- 【2-1】 思考活動
- 【2-2】 単元づくり ~単元指導計画のつくり方~
- 【2-3】 御中授業スタンダード ~1単位時間の学習過程~
- 【3-1】 生徒用授業アンケート
- 【3-2】 教師用授業アンケート
- 【4-1】 授業参観シート
- 【4-2】 主体的・対話的で深い学びとは
- 【5-1】 家庭学習の手引き(表紙)
- 【5-2】 家庭学習の手引き
- 【5-3】 がんばりカード
- 【5-4】 未来を切り拓く5つの習慣M
- 【6-1】 「自治の花を咲かせよう」活動
- 【6-2】 令和5年度 開発的生徒指導について
- 【6-3】 令和5年度 行事マネジメント表
- 【7-1】 Niceカード活動
- 【7-2】 Niceカード活動項目
- 【8-1】 令和5年度「学びの活性化」検証ロードマップ
- 【9-1】 第2学年理科 学習指導案(令和5年6月実施)
- 【9-2】 第2学年英語科 学習指導案(令和5年7月実施)

御中授業スタンダード

未来を切り拓く羅針盤を手に入れよう！
「考える」・「協働する」・「切り拓く」

	考え方の深まり	どんな力？	何をする？ 何ができるようになる？
授業の流れ	気付く	「めあて」をつかむ。 解決の見通しをもつ。	<p>★ 授業(単元)のゴールは何かをつかむ。</p> <p>★ 解決のためにどのような方法があるか予想する。</p>
		自分の考えを創る。 協働的に考えを練る。	<p>★ 既に知っていたことや教科書等から情報を収集し、今の自分の考えを創る。</p> <p>★ 様々な考えの中から自分たちの考えを創り出す。</p>
	考える	学習内容をまとめる。	★ 「何が分かったか」「何ができるようになったか」を整理する。
		学習(授業・単元)を振り返る。	★ 「どのように考えが変わったか」を言葉に表す。
	整理する	授業を振り返る。 今までの知識と比べる。 新しい課題を見つける。	<p>★ 「めあて」と「まとめ」を基に学習内容を振り返る。</p> <p>★ ドリル学習で知識を定着する。</p> <p>★ 今日の授業で分かったことと既に知っていたことをつなげる。</p> <p>★ 疑問に思ったことを調べる。</p>
		振り返る力 想像する力 切り拓く力	
家庭学習	固める・深める		

御中授業スタンダード

「長崎県授業改善メソッド」から

目標(身に付けさせたい力)を明確にする。

	学習活動	指導上の留意点	法則
導入	A【めあてをつかむ】 ★授業のゴールをつかむ。	□全ての生徒が「めあて」を理解できるようにしたか。	適度困難の法則 
	B【解決の見通しをもつ】 ★解決のためにどのような方法、作業をすればよいか予想する。	□全ての生徒が解決方法を見出し、作業内容を理解できるようにしたか。!	関連付けの法則
展開	C【自分の考えをもつ】 ★既存の知識や経験、教科書などから情報を収集し、整理する。 ★自分の考えを書く。	□主語、述語、理由、根拠を明確にして書くことができるよう促したか。 □絵や図表を用いて自分の考えを書くことができるよう促したか。	足場掛けの法則 
	D【協働的に考える】 ★自分の考えとその理由を明らかにする。 ★自他の考えの共通点や相違点に着目しながら、聞く。 ★自分の考えに新たな発見を付け加える。	□自他の考えをノートや資料等を示しながら、意見交換できるようにしたか。 □共通点や相違点に着目して、他者の話を最後まで聞くことができるようしたか。 □新しい解や納得解を見出せるようにしたか。	記憶固定の法則 交互練習の法則 
まとめ	E【学習した内容を整理する】 ★「何が分かったか」「何ができるようになったか」を自分の言葉で整理する。 ★練習問題に取り組む。	□重要語句等を生徒の思考で押されたか。 □学習内容と日常生活を関連付けられるような例示を行ったか。	多様練習の法則
	F【学びを振り返る】 ★一人一人の学びを振り返る。 ★次の学びに目を向ける。	□課題を解決するために試行錯誤する中で身に付いた力を自覚できるようにしたか。 □主語や述語を明確にして、自分や仲間の学びを言語化できるようにしたか。 □学習内容と日常生活との関連付けができるようにしたか。	想起練習の法則 
復習	G【学びを関連付ける】 ★学習内容の定着を図る。 ★学習内容と日常生活を関連付ける、生かす。	□学習内容を定着させることのできる課題であるか。 □学習内容と日常生活を関連付けに不足はないか。	想起練習の法則 間隔練習の法則

授業の流れ

授業の構想